

いのち ひかり あい



MERRY
CHRISTMAS
AND HAPPY NEW YEAR

2021



Contents



- ★東北学院幼稚園 2
- ★東北学院中学校・高等学校 2
- ★東北学院榴ヶ岡高等学校 3
- ★東北学院大学 3
- ★東北学院キリスト教活動の紹介 4
 - ★クリスマスメッセージ 5
 - ★クリスマスのご案内 6



幼稚園

幼稚園は教会暦より少し早めにアドベントに入ります。クリスマスの話をするとすぐに「今年は何の役になろうかな?」と考え始めます。幼稚園の子ども達にとって“クリスマス=聖誕劇”という思いが強いのでしょうか。しかし、考えてみればこれは非常に尊いものだと思います。聖誕劇のために一生懸命何度も練習し、みんなの前でドキドキする気持ちに耐えて舞台上がり声を出す、これは幼い子どもにとって試練と言っても過言ではありません。しかも自分のなりたかった役を泣く泣く友だちに譲った子もいるのです。しかし、それに耐え「イエス様のお誕生をお祝いするために」と自分の役を頑張ります。本人に自覚はないでしょうが、イエス様のお誕生を心から喜び祝う信仰の姿があると思います。

幼稚園園長
島内 久美子



中学校・高等学校

左記の写真の通り、昨年のクリスマス礼拝は予め録画したものを各教室で見るという形態を取りました。中高でよく使用するグーグルのMeetを使うと、音楽がずれて聞こえてしまうため事前に各場面（キャンドル・サービス、ハレルヤ・コーラスなど）をバラバラに撮り、それを30分程度に編集したものを司事者の生徒の進行にあわせて流したのです。下火にはなっているとはいえ、1400人が一同に集まったの礼拝は現実的ではないと感じていますのでハイブリッド方式の可能性を探りつつ、その時に備えたいと考えています。

中高宗教研主任
松井 浩樹



榴ヶ岡高等学校



11月に入ると街中にクリスマスを感じるイルミネーションが輝き始めます。クリスマスはもっと先のことで、何となく慌たじさを覚えます。

イエスの誕生は暗い世の中に1つの光として明るい未来を与えるので、クリスマスを待ち望むそして祝う人々の声がイルミネーションに表現されます。

体育館の西側の壁面に5本の青色のLEDでツリー(樹)を表現し、青色は東北学院のスクールカラーの真実を表し、何といても青色のLEDは3名の日本人研究者(赤崎勇、天野浩、中村修二氏)によって発明され、2014年のノーベル物理学賞につながったことを記念するものです。

2020年度よりイルミネーションの設置場所を中庭に移動し、全校生徒がよく見える位置に変え、同時にクリスマスイルミネーション点灯式を行いました。今年も全校生徒がクリスマスを待ち望み、イルミネーションの光がコロナ禍の社会を明るく灯すよう願います。



東北学院榴ヶ岡高等学校
理事長特別補佐

湯本 良次

大学



今年の大学のキリスト教活動は、皆で集合する場合にはコロナウイルス感染症予防のため時間を短縮し、オンラインも併用して実施しました。学生たちは顔を合わすチャンスが少なかったせい、制限下にあった割には思ったよりも積極的で、楽しい交流をすることが出来ました。大学の礼拝は、昨年度と同様、ホームページ上で毎週動画にて配信しています。感染が下火となった今年度の後期からは、一週間に一度の割合で礼拝堂において、収容人数を制限して実施しています。2023年度の五橋キャンパス移転に伴い、来年度は、泉キャンパスと多賀城キャンパスでの礼拝は最後となります。心をこめて最後の一年の礼拝と取り組みたいと思います。



大学宗教部長
野村 信



東北学院の宗教活動の紹介

宗教改革記念日礼拝 [2021年10月29日]

10月31日はキリスト教の暦では「宗教改革記念日」です。1517年のこの日に、マルティン・ルターがヴィッテンベルク城教会の扉に「95ヶ条の論題」を打ち付け、宗教改革が始まったことを記念して制定されました。

東北学院中学校・高等学校、榴ヶ岡高等学校では、毎年宗教改革を記念した礼拝を行っています。

説教題「宗教改革と聖書」
聖書箇所
テモテへの手紙二
3章16節



南光台キリスト教会 田中 信矢牧師

榴ヶ岡高等学校



説教題「ルターとソクラテス」
聖書箇所
ルカによる福音書18章9節-14節
（「ファリサイ派と徴税人」のたとえ）

理事長特別補佐 鐸木 道剛先生

水曜公開礼拝

毎月1回第3水曜日に行われている、宗教センター主催の市民への公開礼拝です。現在は感染症対策のためオンラインで配信しています。

【第1部 礼拝】の後に【第2部 音楽による賛美】があり、パイプオルガンの独奏や声楽家による独唱をご視聴いただけます。毎回40～45分です。本学のHPからぜひご覧ください。



教職員聖歌隊

東北学院教職員聖歌隊は、卒業生・関係者を含む教職員を中心として活動しています。感染症対策のため、状況に応じてZoomと対面を切替ながら、毎月1回第4水曜日に練習しています。主なレパートリーは讃美歌です。ドイツ語でコラールも歌います。最終目的はシュッツを歌うこと。現在、それぞれ各声部（ソプラノ、アルト、テノール、バス）4人くらいいます。どうぞご参加ください。



The snow is piling up!

クリスマスのごあいさつ



 宗教センター所長(院長・学長) 大西 晴樹


クリスマスは、神がわたしたち人間に救い主であるイエス・キリストを遣わした出来事です。


イエス・キリストの到来は一方的なので、普段常識や経験に依拠している人間にはとってなかなか受け入れがたいものがあります。聖書においてもこの点が描かれており、ヨセフとマリアの戸惑いは、その消息を端的に表現しています。しかしながら、「その時は到来し」、マリアは「聖霊によって」イエスを生んだのです。

アドベント(待降節)とは、「到来」を意味するラテン語のアドベントゥスに由来します。今年のアドベントは、11月28日からクリスマスイブまでの期間ですが、その間、本学の礼拝堂では毎週、1本、また1本とろうそくに火が灯され、「到来への期待」は高まる一方です。

折しも、新型コロナウイルス感染者は減少傾向を示し、竣工を来年に控えた五橋新キャンパスに対する学院関係者の期待は大きく膨らんでいます。今年から、土樋キャンパスと中高においてもクリスマスイルミネーション点灯式を開催します。救い主の到来を大いに知らせ、喜びを分かち合おうではありませんか。


 宗教センター主任 野村 信


皆さま、クリスマスおめでとうございます。コロナウイルス感染症禍で自粛と不自由を余儀なくされ、さらに気候変動や経済不安、国際社会における対立など明るい話題の少ない時期を過ごしていますが、キリストが誕生された時代は、今よりもはるかに暗く、重く塞がれた時代でした。イスラエルの人々はローマ帝国の支配下に置かれ、領主ヘロデ大王は暴虐で、おおよそ光の見えない状態にありました。しかし暗いからこそ、このお方が明るく世界を照らす光として誕生したことを思われます。「わたしは世の光である。わたしに従う者は、暗闇の中を歩かず、命の光を持つ」(ヨハネによる福音書第8章12節)とキリストは言われましたが、改めて現代の私たちへの語りかけとして、この時に聴きたいと思います。


 理事長特別補佐 鐸木 道剛


クリスマス、おめでとうございます。でも、何でおめでとう？

それはサンタさんがプレゼントくれるから。知らないおじいさんが、なんかくれます。サンタさんて、北の寒い国にいるようです。ノルウェーにいて知って、サンタさんに手紙を書いたら、一年も後の翌年のクリスマスに返事が来たって、遅いよ〜、て言ってた子がいました。

また、夜寝たら、おとうさんが枕元にプレゼント置いたのに気づいたので、サンタさんはいないんだ、サンタさんはおとうさんだっただて言ったら、おとうさんは玄関でサンタさんにあったから、預かってきたとか、ほんとかな〜、とってた子もいました。サンタさんて、よくわかりません。サンタさんのお面が怖くて泣いてた子もいましたし。しかし知らない人からのプレゼント、それはイエスさまがお生まれになったことがそうです。だからみんなも、誰でも！プレゼントもらえます。イエスさま、お誕生、おめでとうございます！



キリスト教Q&A

クリスマス編

Q アドベントってなに？

A: イエス様のお誕生を祝うクリスマスの前の4週間を「待降節(アドベント)」と呼び、クリスマスの準備期間を過ごします。

Q クリスマスツリーの一番上に飾る星にはどんな意味があるの？

A: イエス様がユダヤのベツレヘムでお生まれになった時に、夜空に輝いたという星をイメージして飾られます。「ベツレヘムの星」と呼ばれます。

Q クリスマスツリーはいつまで飾るの？

A: クリスマスツリーは、本来アドベントの期間から始まり、1月6日の公現祭(顕現祭)まで飾ります。ただ日本ではお正月が来る前に片付けることが多いです。



オルガン移設募金のお願い

東北学院大学は開学以来、創り主である神を賛美する礼拝を大切に守り続けています。

2023年4月、東北学院大学多賀城キャンパスと泉キャンパスは「東北学院大学総合キャンパス整備事業」の一環で、五橋キャンパスへと集約されます。これを機に両キャンパスのオルガンを移設し、生ける財産として永く活用していく計画を立てました。移設が無事に完了し、再び各礼拝堂にオルガンの音が美しく響き渡りますように皆さまのご協力を心よりお願い申し上げます。

詳しくは、「五橋キャンパス開学に伴うオルガン移設募金」ホームページをご覧ください。

<https://www.tohoku-gakuin.jp/activity/donation/organ.html>



各学校のクリスマス礼拝

泉キャンパスクリスマス	12月3日(金)	説教者 野村 信 (大学宗教部長) クリスマスメドレー演奏 吹奏楽 東北学院シンフォニックウインドアンサンブル (SWE) オルガン 今井 奈緒子 独 唱 鈴木 美紀子、谷地 晶子、中川 郁太郎 合 唱 東北学院大学宗教部聖歌隊
第72回公開東北学院クリスマス	12月16日(木)	説教者 佐藤 由子 牧師 (日本基督教団仙台南伝道所) メサイヤ (東北学院中高及び大学聖歌隊と声楽家による合唱)
幼稚園クリスマス	学内開催 12月16日(木)	聖書朗読 原田 浩司 (大学宗教主任)、木村 純二 (大学宗教主任)
大学クリスマス	学内開催 12月17日(金)	説教者 佐々木 栄悦 牧師 (日本基督教団登米教会) メサイヤ (東北学院中高及び大学聖歌隊と声楽家による合唱)
榴ヶ岡高等学校クリスマス	学内開催 12月23日(木)	説教者 関川 祐一郎 牧師 (日本基督教団石巻山城町教会)
中学校・高等学校クリスマス	学内開催 12月24日(金)	説教者 高 アンナ (中高聖書科教諭)



「いのち ひかり あい」第3号

発行：東北学院宗教センター
編集責任者：宗教センター主任 野村 信
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1
TEL: 022-264-6558
Email: c.center@mail.tohoku-gakuin.ac.jp